

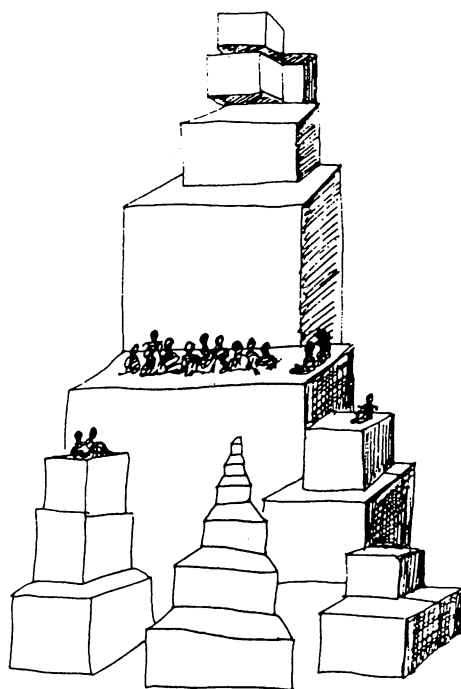
南山短期大学人間関係研究センター事業報告 (1996年度)

事業概要	243
社会人研修	244
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	244
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	245
3. 社会人研修参加者統計	247
コンサルテーション	248
1997年度人間関係研究センター事業予定	250
南山短期大学人間関係研究センター規程	261

■ 事業概要

“ねむりこけたままほうられている人間が多すぎる”

—サン・テグジュペリ



センターの重要な活動である社会人のための公開講座は、1977年のセンターの発足時から毎年定期的に関講されている基礎研修講座を中心に、各種の専門研修講座や特定研修講座を開催している。これらの講座は南山短期大学が地域社会に対してユニークな学習の場を提供する機能と同時に、センター研究員に対して教育訓練に関する多様な臨床研究の場を提供する機能を果たしている。

基礎研修講座（一般研修）は昨年春秋3回開催され、既に47回を重ねている。基本的なプログラムは週1回約3時間（午後6時30分～9時）の研修を10週間続けて1コースとし、体験学習による自己理解や他者理解、コミュニケーション・プロセス、グループ・プロセスの基本的な学習を目指している。受講者にとっては、利害関係にとらわれることなく、さまざまな人々と接触を持つことも魅力の一つであり、そこから新しい友人関係や仲間意識が生まれ、自主研修グループに育っていく場合もある。

専門研修（継続研修）としては、“自己理解を深める”研修と“グループ・プロセスの理解を深める”研修とが基礎研修に続く研修として開講されている。中部地区では、初めての、Tグループを中心として人間関係トレーニングやTAセミナーは回数を重ね、からだごとことばのセミナー、ボディワーク・セミナーも多く受講者を迎えている。また、新しく、“個人・人格・人間—日本人の生き方を哲学する—”、アートセラピー“わたしと語る”も開講された。

一方、コンサルテーション活動は地域社会の個人や組織体に対してセンターが提供できる専門機能であり、1984年度「名古屋いのちの電話準備委員会」約100名の電話相談員の「人間関係基礎訓練」以来、「名古屋いのちの電話」は、1985年7月から相談業務に入り、センターは毎年「人間関係基礎訓練」「継続研修」の訓練計画と実施の援助を続けている。種々主地域団体の研修プログラムをはじめ1989年度国立婦人会館、1990年度名古屋生涯教育センターからのプログラム開発に対して講師としてセンター研究員が派遣されていた。

■ 社会人研修／人間関係基礎研修講座（一般研修）

第45回人間関係講座

開講期間：1996年4月27日～7月13日 毎週土曜日 午後2時～4時30分

参加者：33名

担当者：星野 欣生・中村 和彦

第46回人間関係講座

開講期間：1996年5月13日～7月22日 毎週月曜日 午前9時30分～12時

参加者：34名

担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

第47回人間関係講座

開講期間：1996年9月27日～12月20日 毎週金曜日 午後6時30分～9時

担当者：山口 真人・楠本 和彦

ドストエフスキイを読もう

開講期間：1996年4月13日～1997年1月18日 毎週土曜日 午後4時～6時

参加者：24名

担当者：大森 正樹

聖書深読入門

開講期間：1996年9月17日・18日（2日間集中）

参加者：14名

担当者：奥村 一郎

■ 社会人研修／人間関係専門研修講座（継続研修）

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）A

開講期間：1996年8月5日・6日・7日（3日間集中）

参加者：18名

担当者：中堀 仁四郎

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）B

開講期間：1996年11月2日・3日・4日（3日間集中）

参加者：25名

担当者：中堀 仁四郎

TAによる自己啓発

開講期間：1997年3月7日～9日 2泊3日

場 所：(財)キープ協会・清泉寮

参加者：6名

担当者：中堀 仁四郎

ボディワーク・セミナー

開講期間：1996年7月26日～28日 2泊3日

参加者：22名

担当者：グラバア 俊子

からだとことばのセミナー

開講期間：1996年7月23日・24日・25日（3日間集中）

参加者：23名

担当者：竹内 敏晴

アートセラピー わたしと語る

開講期間：1996年5月11日～6月29日 毎週土曜日 午後2時～3時30分

参加者：24名

担当者：伊東 留美

個人・人格・人間－日本人の生き方を哲学する－

開講期間：1996年5月11日～7月27日 毎週土曜日 午後1時30分～3時

参加者：15名

担当者：中野 清

ユング心理学

開講期間：1996年7月21日・27日・28日 午前10時～午後6時

参加者：19名

担当者：木村 晴子

Tグループ（人間関係トレーニング）

開講期間：1996年9月5日～10日 5泊6日

場 所：(財)キープ協会・清泉寮

参加者：24名

担当者：星野 欣生・中堀 仁四郎・津村 俊充・伊藤 雅子・中村 和彦

トレーナー・トレーニング

開講期間：1997年3月20日～24日 4泊5日

場 所：(財)キープ協会・清泉寮

参加者：10名

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人

■社会人研修／参加者統計（1996年度）

講座名	場所	担当者	期間	時間	曜日	参加者数	性別		居住地		職業											年齢					
							男	女	市内	市外	公務員	団体職員	会社員	自営業	医療関係	教育関係	教会関係	主婦	学生	その他	無答	20～29才	30～39才	40～49才	50才以上	無答	
人間関係基礎研修講座	前回まで					1,399	291	1,108	853	546	75	68	347	49	139	188	43	276	96	93	25	610	363	295	117	14	
	人間関係講座 No45	南山短大	星野・中村	H8.4/27～7/13	14:00～16:30	土	33	6	27	14	19	2	3	8	3	2	4	0	7	1	2	1	11	8	11	3	0
	人間関係講座 No46	〃	伊藤・佐竹	H8.5/13～7/22	9:30～12:00	月	34	3	31	22	12	1	0	5	2	1	1	0	19	1	3	1	4	10	18	2	0
	人間関係講座 No47	〃	山口・楠本	H8.9/27～12/20	18:30～21:00	金	38	0	38	15	23	4	1	7	0	9	4	0	5	2	6	0	19	11	5	3	0
	計					1,504	300	1,204	904	600	78	72	365	55	151	201	45	305	100	106	26	644	392	329	125	14	
人間関係専門研修講座	前回まで					1,314	339	975	585	729	72	77	366	54	135	196	14	139	80	132	49	488	372	302	103	49	
	ボディーワーク・セミナー	風の豊与	グラバア	H8.7/26～7/28	2泊3日		22	8	14	6	16	1	2	2	1	2	6	0	1	4	3	0	6	7	8	1	0
	わたしと語る	南山短大	伊 東	H8.5/11～6/29	14:00～15:30	土	24	1	23	11	13	1	3	8	2	1	4	0	4	0	1	0	9	8	5	2	0
	からだとことばのセミナー	〃	竹 内	H8.7/23～7/25	3日間集中		23	5	18	8	15	1	2	4	0	1	8	0	3	2	2	0	8	7	4	2	2
	T グループ	清里 清泉 寮	中堀・伊藤 中野・中村	H8.9/5～9/10, H8.12/8	5泊6日		24	9	15	5	19	0	2	4	4	2	3	0	3	4	2	0	8	9	7	0	0
	ユング心理学	南山短大	木 村	H8.7/21～7/28	10:00～18:00		19	2	17	9	10	0	1	5	1	3	3	0	2	2	2	0	8	5	4	2	0
	TA入門A	〃	中 堀	H8.8/5～8/7	3日間集中		18	2	16	6	12	1	0	3	1	4	6	0	1	1	0	1	4	8	4	1	1
	TA入門B	〃	中 堀	H8.11/2～4	3日間集中		25	4	21	6	19	2	1	9	0	5	4	0	4	0	0	0	8	10	5	2	0
	TAによる自己啓発	清里 清泉 寮	中 堀	H9.3/7～3/9	2泊3日		6	1	5	3	3	0	0	2	1	2	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	0
	ドストエフスキを 読もう	南山短大	大 森	H8.4/13～ H9.1/18	16:00～18:00	土	24	5	19	13	11	2	2	4	2	0	0	2	3	3	4	2	1	2	7	10	4
	聖書深読入門	〃	奥 村	H8.9/17～9/18	10:00～15:00		14	1	13	7	7	0	0	2	3	0	1	0	5	1	2	0	1	1	8	3	1
	日本人の生き方を 哲学する	〃	中 野	H8.5/11～7/27	13:30～15:00	土	15	3	12	7	8	1	2	4	2	1	1	0	2	1	0	1	5	2	5	2	1
	トレーナー・ トレーニング	清里 清泉 寮	中堀・山口	H9.3/20～3/24	4泊5日		10	4	6	1	9	0	2	1	0	0	3	0	1	0	3	0	1	4	1	4	0
	計					1,538	384	1,154	667	871	81	94	414	71	156	235	16	168	98	152	53	550	435	363	132	58	
総 計						3,042	684	2,358	1,571	1,471	163	166	781	125	307	432	59	475	198	256	80	1,194	827	692	257	72	

■ コンサルテーション

○「名古屋いのちの電話」電話相談員養成講座の計画と実施

「いのちの電話」は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、さまざまな悩みや心の危機に直面しながら身近に相談できる相手がなく孤独の中にいる人たちの、良き相談相手になっていこうとする市民の奉仕活動である。1953年ロンドンで始められ、現在では世界40ヶ国、数百万都市に設立されている。日本では、1971年に「東京いのちの電話」が開設され、今日まで東京、横浜、京都、大阪など30余りの都市に設立され、「日本いのちの電話連盟」を組織して各地でそれぞれ独自の活動をしている。

「名古屋いのちの電話」は全国で23番目の「いのちの電話」として1985年7月に開局し、現在150名余りのボランティアが年中無休の電話による心理的危機に対する援助活動に参加している。人間関係研究センターは、名古屋いのちの電話訓練委員会からの要請で、相談員養成講座の第一課程である人間関係基礎訓練のプログラムの立案と実施のコンサルテーションを行っている。継続研修、スーパービジョン、訓練委員としても関わっている。1986年7月には「名古屋いのちの電話」より感謝状の贈呈を受けた。

基礎訓練は「自己理解を深める」をねらいとして、一泊研修と、1回3時間のセッションを毎週1回、計8回の体験学習プログラムを立案、実施している。1985から1995年度には第2期生から第9期生（計293人）の基礎訓練を実施。また1996年度10月から12月には第10期生の基礎訓練を行った。

ねらい：「自己理解を深める」

- ・自分の価値観（考え方や行動の特徴）に気づく。
- ・自分のありのままを表現する。
- ・相手のありのままを聴く。
- ・対人関係（自分との、他人との）の中にある自分のあり方に気づく。
- ・今、ここでの関係の中におこっていることに気づく。

この訓練は、電話相談員養成の目的で行われたものであるが、決して相談員となるための技能訓練ではない。社会の中で、人とのかかわりの中で、共に生きようとするときに、誰でも求められることがらの訓練としてプログラムされたものである。生涯学習のための一つのプログラムでもある。

講座名	主催
<p>電話相談コンサルテーション スクールODコンサルテーション リーダーとして備えるべきものは何か 情報を大切にしたい教育 人間関係及びグループリーダー研修等 出会い・ふれあい・結婚 ヘルスカウンセリング指導者養成講座 教師と生徒とのコミュニケーション の中でどこまで訊けるか 人と人とのコミュニケーションについて 青少年担当者・指導者養成事業 箱庭療法 箱庭療法研究会 人間関係トレーニング(Tグループ) 「おとしよりの人間関係・チームワーク」体験学習 教師と生徒の人間関係 リーダーシップについて…理論と実践… 習熟度別学習指導について PFスタディーの理論と実践 人間関係トレーニング …自己理解・他者理解のために… 非行少年の箱庭 昭和63年春期アドバンスコース 患者理解を深めるために 箱庭療法ケースセミナー 人間関係をよくするために 女性が学ぶこと、ライフサイエンス カウンセリング講座 学校栄養職員研修会「リーダーシップの機能」 老人福祉関係職員等研修事業 勤労青少年リーダー養成研修会 企業経営＝職場でのコミュニケーション 私学協会教育相談研究会 サークル活動をデザイン 研修・研究の調査 女性講座 気づき重視トレーニングの科学的根拠をさぐる グループの中の人間関係 女性管理者養成講座 生徒指導のあり方 なごやかスタッフ養成研修 カウンセリングセミナー グループワークトレーニングの基礎知識 社内研修会「なぜ今“気づき”なのか」 名古屋市民大学「グループリーダーセミナー」 自主グループの研修会 ライフサイエンスのめざすもの 自分を知るプログラムの体験学習 ヒューマン・リレーションズ・ラブ 女性のための自己開発講座 青年リーダー養成講座 人間関係を豊かにするには 人間関係トレーニング 中堅看護婦として自己をふりかえり、 自分の立場を認識する よりよい人間関係を築くために なごや女性カレッジ 「おとしより・同僚と人間関係・チームワーク」 両親のためのコミュニケーション講座 ボランティア・リフレッシュ講座</p>	<p>名古屋いのちの電話 聖カピタニオ女子高等学校 東海理化労働組合 遠州カウンセリング研修会 名古屋市各区社会教育センター 名古屋瑞穂青年の家 愛知県教育委員会 愛知県私学協会研究部 東海市教育委員会 愛知県総務部 財団法人関西カウンセリングセンター 兵庫教育大学生徒指導講座 遠州カウセリング研究会 名古屋市民生局 中部地区カトリック中・高等学校教職員教育研修会 愛知県労働部 香川県立小豆島高等学校 宝塚市立教育研究所 財団法人関西カウセリングセンター 大阪家庭裁判所 関西カウンセリングセンター 浜松市立看護専門学校 メンタルヘルス研究所、東京 戸塚協会名古屋支部 名古屋市教育委員会：名古屋市婦人会館 愛知県看護協会 名古屋市教育委員会 名古屋市民生局 愛知県労働部労働福祉課 名古屋商工会議所 愛知県私学協会 名古屋市瑞穂青年の家 奈良県教育センター 春日井市いぶき会 名古屋市青年会議所 名古屋市婦人会館 日本経営管理協会中部支部 平和町立平和小学校 社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 社会福祉法人あさみどりの会 東海市教育委員会 東海市立青少年センター MMC/マーケティング・マネジメント・センター 名古屋生涯教育センター 婦人学習相談員グループ 名古屋青年税理士連盟 国立婦人教育会館 聖マーガレット生涯教育研究所 滋賀県立婦人センター 小牧市教育委員会 名古屋市母子施設連盟 厚生連中央看護専門学校 藤枝市立志太総合病院 三重県市町村保健婦協議会 名古屋市教育委員会 名古屋市厚生院 あらたまメンタルクリニック 岩倉市社会福祉協議会</p>

■ 社会人研修／人間関係研究センター1997年度事業予定

南山短期大学人間関係研究センター
The Center for the Study of Human Relations
of Nanzan Junior College

個性ある生き方と人間性豊かな社会をつくり出すために

私たちは一人ひとり豊かな人間性と独自の個性を持ったかけがえのない存在です。ところが現代社会の中で私たちは役割の中に埋没し、互いに心を閉ざし、かかわり合うことをおそれ、人間をあたかも物の如くに扱い、自分も取るに足らぬ物としか感じられなくなっていないでしょうか。

人間関係の教育は、対話を通して自分の価値観や人生観をみがき、他者への思いやりと感受性を豊かに養い、ひとりひとりが生かされるグループや共同体を形成し、人間疎外の社会を愛と信頼関係のあふれる人間尊重の社会へと変革することと、それらの担い手を育てることに取り組みます。

いまこそ本当に人間関係の教育が必要とされているのです。

基礎研修

対話やコミュニケーションをするときの自分自身の、話し聴く能力、チームワークやリーダーシップなど、小集団の中での有効な人間関係のあり方などを、体験を通して学びます。特別に用意された実習を行いながら、その体験をお互いに報告し話し合い、まとめていくラボラトリーメソッドを使いますので、単なる講義とは違って、自分自身のあり方そのものを学ぶことができます。

企業人、教育関係者、医療関係者、ボランティア活動家、主婦、学生など、人間や人間関係に関心を持っている方々にとって、最も気軽に参加できる体験学習の機会です。

研修は毎週1回、10週間で1コースになるように計画していきます。

第48回人間関係講座（春期・土曜日・午後1：30～4：00）

1997年4月12日／19日

5月17日／24日／31日

6月7日／21日／28日

7月5日／12日

担 当：星野 欣生・中村 和彦

*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

第49回人間関係講座（夏期・午前9：30～午後6：00）

1997年7月21日(月(祝))／23日(水)／25日(金)

担 当：山口 真人・まどか 庸代

*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

第50回人間関係講座（秋期・月曜日・午前9：30～12：00）

1997年9月22日／29日

10月6日／13日／20日

11月17日

12月1日／8日／15日／22日

担 当：伊藤 雅子・佐竹 一予

*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

定 員：各回とも30名

会 場：南山短期大学

研 修 費：各回とも26,250円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

専 門 研 修

Tグループ〔人間関係トレーニング〕

Tグループは、1947年にアメリカで始まり、その後世界各国で実施されている、深く人間関係を学ぶ集中的なトレーニングです。教育・福祉・医療など人間にかかわるすべての専門職業人や組織の管理者、人間や人間関係に関心を持っている方、自分の生き方を探っている方などにとっての必須の体験の場と言えるでしょう。Tグループでは、“いま、ここ”の場の中に起こっているコミュニケーションや相互影響関係についての気づきをお互いにフィードバックしあいながら、自分自身を学び、人間関係のプロセスと本質を体験的に学んでいきます。それは一つ一つの影響関係がより深い人間関係を生み出し、次第にグループという有機体を形成していく過程を体験することにもなります。

担 当 者：中堀 仁四郎・山口 真人・伊藤 雅子・中村 和彦・楠本 和彦・文珠 紀久野

日 程：1997年7月27日(日)～8月1日(金) 5泊6日

フォローアップ1997年12月7日(日)

定 員：30名

会 場：(財)キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参加費：研修費73,500円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

滞在費は実費（55,000円程度）を別途徴収させていただきます。

トレーナー・トレーニング

このセミナーでは、人間関係の中で、学び生きることを促進するための態度と技能を、まさに体験を通して学びます。Tグループを想定した状況の中で、参加者が交代で実際にトレーナー役を務めたり、観察者としてグループ状況をフィードバックしたりしながら、メンバーやグループの理解や人間理解に加えて介入に関する理解を深めます。

プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディなども交えながら、許容的な雰囲気の中で相互にクリティークを行います。

期待される成果は

- ・カウンセリングなどの基本になる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた姿で点検できます。
 - ・体験過程を促進する効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。
 - ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを修得できます。
 - ・グループメンバーを尊重しながらグループを促進するように介入するスキルを修得できます。
 - ・自分自身の介入の問題点や可能性を探ることができます。
- *参加者の関心に応じて、ラボラトリーのデザインの問題や具体的なプログラミングの問題なども取り上げることができます。

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充

日程：1998年3月20日(金)～24日(火) 4泊5日

定員：18名

参加資格：Tグループ、エンカウンターグループなどの構造化されていないグループ体験のある方、または、それらに準じた体験学習を経験しておられる方で、トレーニングスキルの修得を目的にしている方。

（不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい）

会場：(財) キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参加費：研修費92,400円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

滞在費は実費（44,000円程度）を別途徴収させていただきます。

アドバンス体験学習

私たちは、日々のさまざまな体験から、沢山のことを学んでいます。

〈体験から学ぶこと〉、それはごく当たり前のことのようにですが、そのことをもっと意識してみようでしょうか。「体験学習」は、人間に関係のあるテーマを学ぶには大変有効なものです。自分に光をあててみることもできるし、対人関係のこと、グループや組織のことを学ぶこともできます。

「体験学習」のおもしろいところは、あるテーマ（例えば、コミュニケーション）についてその理解を深めながら、同時にそのテーマに関して自分のありよう（例えば、コミュニケーションの仕方）に気づき、必要を感じれば変えていくことができることです。それは、自分のありように光をあて成長しながら、同時に理論も習得していくユニークな学習方法です。約50年前にアメリカでスタートしたのですが、わが国でも、企業内研修をはじめ、学校教育や生涯教育の場などで幅広く実践されています。それは、学ぶ人ひとりひとりを大切にす教育方法です。チェンジすること（個人から社会の変革まで）を目指しているものです。

このセミナーでは、

- ・「体験学習」を自ら体験すること
- ・「体験学習」のプログラムを自分たちで計画し、ファシリテーターとして実践してみること

この二つのこと、つまり、体験学習を受講することと、実施することを、参加者が交代しながらプログラムを展開していきます。

それらの体験を通して、

- ・体験学習とは何か（体験学習の理論と実際）
- ・なぜ体験学習なのか—教育の原点を問う
- ・革新する教育方法としての体験学習
- ・体験学習のすすめ方（プログラムをつくり、実施するスキルを養う）
- ・体験学習をすすめるファシリテーターのあり方—教育者の原点を問う
- ・体験学習の生かし方—学校、企業、生涯学習と体験学習

などを学びます。同時にこれらの学習活動を通して、参加者相互のかかわりを深めていきます。

担当者：星野 欣生

日 程：土曜日 12回 午後1：30～4：30

1997年9月27日

10月4日／11日／18日

11月8日／22日／29日

12月6日／13日／20日

1998年1月10日／17日

定 員：18名

参加資格：何らかの体験学習を経験したことのある方

（不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい）

会 場：南山短期大学

研 修 費：50,400円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

セルフサイエンス・セミナー

日常生活や職場の中で、不快感や後悔が強く残るような結末の人間関係を経験されていないでしょうか？

この研修ではそうした自分の対人行動のありかたを客観的に見つめるトレーニングを行います。学習の方法は『体験学習』を中心に行います。とりわけ、ウェインシュタイン教授（University of Massachusetts）が提唱するトランペット・セオリーに基づいて、細分化されたステップで『体験学習』を行います。同時に、自分の対人関係のあり方を客観的に促えるために、また自分への気づきを深めるために、いくつかのスキルトレーニングと認知モデルを提供します。

最終的には、そうしたスキルとモデルを用いることによって、自分自身を自然科学者のように客観的に促える目を養うことにあります。それ故、『セルフ・サイエンス』の名が付けられています。

この研修はウェインシュタイン教授がマサチューセッツ大学において「セルフサイエンス」のプログラムの一貫として行っている「Education of the self」の授業をベースにして行います。

担 当 者：津村 俊充

日 程：木曜日 12回 午後6：30～9：00

1997年5月1日／8日／15日／22日／29日

6月5日／19日／26日

7月3日／10日／17日／24日

定 員：24名

参加資格：何らかの体験学習を経験したことのある方

（不明の場合はお問い合わせ下さい）

会 場：南山短期大学

研 修 費：32,550円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

TA入門 (トランザクショナル・アナリシス) <A・B>

TA (Transactional Analysis) はエリック・バーン博士 (1910-1970) により開発され、のちに彼の仲間達とともに発展させられた心理療法の体系です。

TAは、わたしたち誰もが基本的には “I'm OK, You're OK” の存在であるという価値観に基づいています。“今、ここ” に気づき、自らが自分の在り方を選びながら、自分のOKであることを確かめ、また相手とも肯定的な関係を作り出していきます。

TAは心理療法として発達しましたが、私たちの自分自身との関係や他者との関係の改善、楽しい職場や家庭づくりなどに大いに生かすことが出来るものなのです。

この講座ではTAの基本的な考え方を理解し、体験学習の方法を用いて自己理解を深め、成長への手がかりをつかむことをねらいにします。

担当者: 中堀 仁四郎

日程 A: 1997年8月21日(木)・22日(金)・23日(土) 3日間集中 (通い)

日程 B: 1997年11月2日(日)・3日(月(祝))・4日(火) //

定員: 各24名

会場: 南山短期大学

研修費: 30,450円 (消費税ならびに申込金2,000円を含む)

TAによる自己啓発

TAを中心に、ゲシュタルトセラピーなどの考え方もとりいれながら、自己に焦点をあてます。ゆったりとした環境の中で、グループで助け合いながら、自分をふりかえったり、自分の可能性を探ったりして、エネルギーを充電する時としたいと思っています。

参加する人には、理論を学ぶよりも、自分自身に光を当ててみる、自分の可能性を確かめてみるといったことを期待しています。原則として、TAの入門のコース (当センターでなくてもよい) を経験されていることを望みます。

担当者: 中堀 仁四郎

日程: 1998年2月20日(金)~22日(日) 2泊3日

定員: 16名

会場: (財) キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

研修費: 37,800円 (消費税ならびに申込金2,000円を含む)

滞在費は実費 (28,000円程度) を別途徴収させていただきます。

教師のための講座－ヒューマニスティック・エデュケーションの試み－

現在、教育のあり方や改革について、様々な角度から、多くの提言や議論がなされています。しかし、その問題や課題の解決はなかなか容易ではなく、私達教育にたずさわる者にとっても、日々試行錯誤の連続なのではないでしょうか？その中で、私達は今、自分が生きている場での人間関係や状況に目を向けることが大切だと考えています。ヒューマニスティック・エデュケーションのアプローチを体験する中で、自分の教育的活動を見直し、教師としての自分に新しい光が当たるような場をみなさんと共に創っていきたいと思っています。

そこで、私達は次の2つの柱からなる研修を考えています。

- ・かかわりの中で生きる自分としてより豊かなあり方に気づく。

教師として、一人の人間として、自分はどのようなかかわりの中で、どのように人とかかわっているのかに気づき、より豊かなかかわりを創造していくための場をめざしています。また一泊の集中セミナーでは自然の中で、いつもと違う自分を発見したり、体験の幅を広げるチャンスが得られると思います。

- ・実習を通して、体験学習のスキルを養う。

体験を学習に変えるため学習方法について、その理論、方法、スキルを、実習を通して学びます。

担当者：グラバア 俊子・楠本 和彦・山口 真人

形態：定例会と一泊の集中セミナー

日程：〔定例会〕

第3土曜日 午後3：00～6：00

1997年5月17日／6月21日／9月20日／10月18日

11月22日／12月20日

1998年1月17日／2月21日

〔一泊の集中セミナー〕

1997年8月9日(土)～10日(日)

*希望者のために、自費参加による自由参加の合宿を上記の日程に引き続き、8月11日に予定しています。

定員：20名

対象：現在教職についている方。子どもや青年に対して、教育的活動を行っている方

会場：南山短期大学、小原村 風の豊与（1泊2日合宿のみ）

研修費：42,000円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

宿泊費：宿泊時の食費は別途徴収させていただきます（10,000円程度の予定です）。

キリスト教的人間理解

宗教は人間と世界が本来のあるべき姿へ向かって生きるよう励ますことにその存在意義があります。このコースでは、主に聖書のテキストを読みこれと対話、対決しながら現代の私たちの生きかたを問い直したいと思います。

担当者：市瀬 英昭

日 程：土曜日 8回 午後1：30～3：00

1997年5月10日／17日／24日

6月14日／21日／28日

7月5日／19日

定 員：20名

会 場：南山短期大学

研 修 費：29,400円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

からだとことばのセミナー

今、ここで、生き始めること

うたい

ふれあい

安らぎ

話しかけ そして

からだの内に感じるままに表現し、

他者に手渡すこと

自分のからだが閉じていること

自分のいきと、こえと、ことばが閉じていること

いや、閉ざされているのだ

現代社会のあまりにも広範な管理によって、

さらに、その根底となっている自然科学の

客観主義的空間時間把握によって

気付くことは、すでに一足踏み出していることだ

たとえば、こえが出た時、話しかけることができた時、

世界が変わり、そこに立つ〈わたし〉が変わる

担当者：竹内 敏晴

日 程：1997年7月22日(火)・23日(水)・24日(木) 3日間集中(通い)
定 員：30名
会 場：南山短期大学
研 修 費：45,150円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

クリエイティブアート・セミナー

アートセラピーという言葉が聞かれたことはありますか？セラピーとしてアートが用いられるのはなぜかと思われたことはありますか？アートセラピーの根底に在る考えは「誰もが創造する力を持っている」というものです。私たち一人一人がそれぞれの創造性を持ち、それが造り出す作品にその人にしかない味を持たせるのです。

「わたしは絵は下手だから」とか「子供のときの美術の評価が悪かった」という理由で、絵を描いたりものを創ったりすることから遠ざかっていませんか？この講座では、創ることが好きな人だけでなく、そのような理由で創ることから遠ざかっている人も大歓迎です。自分だけの創造性と出会える場になるといいなあと思います。

担 当 者：伊東 留美

日 程：1997年7月25日(金)・26日(土)・27日(日) 3日間集中(通い)

定 員：20名

会 場：南山短期大学

研 修 費：29,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

ドストエフスキイを読もう

世界文学の中でも独特の位置を占めるドストエフスキイの作品は一度は読んでみたいものの一つでしょうが、これに一人で挑戦するのはなかなか困難なことです。大抵登場人物の名が途中でわからなくなったり、肝心の筋がどうなっているのかに戸惑うことがあることと思います。しかし、グループで読んでみると、自分とは違う読み方があるのに気づいたり、他の人もやはり自分と同じような疑問をもっていることがわかったり、自分とは違う物の考え方を教えられたりします。こうしたグループでの読書の長所を生かしながら、時に講義を交えて、ドストエフスキイを読み解いていきたいと思えます。じかに、自分の眼でドストエフスキイの作品に触れ、格闘することによって、そこに描き出されている人間の心理、性格、思想をもとにして、人と人との関係や宗教、人生をいかに生きるべきかの諸問題を語りあいたいと思えます。ドストエフスキイが好きな人、一度挑戦して

みたい人、どうも好きになれない人、ちょっと知ってみたい人はどうぞお集まり下さい。

本年は昨年度の続きでドストエフスキイの『悪霊』を読みます。途中からでも参加を希望される方はいらして下さい。

担当者：大森 正樹

日 程：土曜日 午後4：00～6：00

1997年4月12日／19日

5月10日／24日

6月7日／21日

7月5日

9月27日

10月18日

11月8日／29日

12月13日

1998年1月10日／24日

定 員：若干名

会 場：南山短期大学

研 修 費：1,050円（消費税を含む）（その他資料代・茶菓代実費）

聖書深読入門

「聖書深読法」というのは、たとえてみるとピクニックのようなものです。それぞれが、自分の小さいお弁当をもってきて、谷川のほとりで腰をおろし、みんなでわけわけしながら、お昼をするのにも似ています。高級なお料理ではありません。卵やパン、チーズや野菜と果物ぐらいのもので。でも、その時のピクニックのお昼の味は、どんな高級レストランのデラックスなご馳走よりもおいしいものです。

もうひとつの別のたとえですと、禅語の「指月の指（しげつのゆび）」。「ことば」というのは、「ひとさし指」のようなものですから、その指ばかりみつめていても月は見えない。うがった、よいたとえです。「聖書」も印刷されたひとつの「ことば」ということでは、ひとさし指です。そこで大切なのは、その指がさしている天上の月の方に共に目をやることです。そのことを学ぶのが「聖書深読法」です。南山短期大学人間関係研究センターでこの講座をみなさまと共にすることができますことを心から感謝しています。豊かな主の恵みのときとなりますように。

担当者：奥村 一郎

日 程：1997年7月17日(木)・18日(水) 2日間集中（通い）

定 員：20名

会 場：南山短期大学

研 修 費：1,050円（消費税を含む）（その他資料代・茶菓代実費）

【問い合わせ先】南山短期大学人間関係研究センター

TEL.052-832-6214

FAX.052-832-6210

南山短期大学人間関係研究センター規程

- 第1条 本学に南山短期大学人間関係研究センター（The Center for the Study of Human Relations of Nanzan Junior College）（以下「センター」という。）をおく。
- 第2条 センターは、キリスト教的人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的とする。
- 第3条 前条の目的を達成するために、次の各号の事を行う。
- 1 人間・人間関係に関する研究と教育の推進
 - 2 センターと目的を共通にする学外研究機関との協力
 - 3 地域社会における開かれた大学としての諸機能を果たすために研究会・研修会等の開催および個別的相談・指導・援助等
 - 4 研究成果の刊行および文献・資料の収集と一般への公開
 - 5 その他センターの目的達成のために必要と認める事業
- 第4条 センターに研究員を置き、そのうち1名をセンター長とする。
- ② 研究員およびセンター長は学長が委嘱する。
- 第5条 センター長は、センターの事業を掌理し、センターを代表する。
- 第6条 センターは、必要に応じて顧問、相談員および講師をおくことができる。
- 第7条 センターは、その目的にそって研修しようとするものを研修生として受け入れ指導・援助を行う。
- ② 研修生についての規程は、別に定める。
- 第8条 センターに事務職員をおく。
- ② 事務職員は、センター長の指示をうけてセンターの事務を担当する。

付 則

本規程は、昭和52年9月30日より実施する。

南山短期大学人間関係研究センター研究員

（1996年4月～1997年3月）

センター長	伊藤 雅子					
研究員	グラバア俊子	樋田大二郎	星野 欣生	市瀬 英昭	伊東 留美	
	河津 雄介	木村 晴子	楠本 和彦	まどか庸代	鈴木 貞雄	
	文珠紀久野	中堀仁四郎	中村 和彦	中野 清	大森 正樹	
	R.A.メリット	竹内 敏晴	津村 俊充	山口 真人	(ABC順)	
事務局	大竹 由夏					

目次

特別講演 コンティンジェンシー理論について—現状と課題— 野中郁次郎 2
特集 「Tグループ」
JICEラボラトリー・トレーニングの実践(その1) 中嶋仁四郎 11
高等教育におけるTグループの実践 星野欣生・山口真人 36
人間関係Tグループ実践をめぐって 塚 誠 会 77
Tグループによる学習過程理解のための方法的研究(1)
—学生的身影的表現による学習理解への多角的アプローチ— 津村 俊充 90
Tグループに於ける女性
—規範と性別役割に由来する問題点— KANTER・倉澤俊三 99
専攻報告 (1977年—1983年)
I 研究会
1. 「コンティンジェンシー理論について」 野中郁次郎(橋大学) 108
—現状と課題—
2. 「大学教育におけるTグループ適用の試み」 星野 欣生(南山短大)
—教育の革新を求めて— 山口 真人(上智大学) 109
3. 「これからのカウンセリングのあり方」 小林 純(上智大学) 111
4. 「わたしの歩んできた道」 高山 徳樹(上智大学) 113
5. 「ヒューマニスティック・エデュケーション
の動向と自己成長への身体的アプローチ」 グラハム 俊子(南山短大) 116
6. 「プーバと教育」—我と旅を中心として— 真行寺 功(金沢大学) 118
7. 「With-nessということ」 星野 欣生(南山短大) 120
—教師・学生関係について—
8. 「関係の神学」 奥村一郎(聖母学院短大) 122
9. 「教育を考えたおぼえ」 伊東 博(横浜国立大学) 126
10. 「からだ、ことば」 竹内敏晴(宮城教育大学) 128
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 132
2. 人間関係専門研修講座 134
3. 人間関係特定研修講座 137
4. 社会人研修参加者統計 140
5. 1984年度社会人研修予定 141
III 南山短期大学人間関係研究センター—規程— 142
IV 南山短期大学人間関係研究センター—研究員— 143

目次

特別研究会 人間関係の教育 河合 肇 2
特集 「人間教育における体験学習」
I 基礎教育における体験学習
1. 南山短期大学人間関係科の教育の概観 星野 欣生 39
—10年の歴史と展望—
2. 人間関係科における教育の試み R.A.メリット 47
—見直された体験学習—
3. 人間関係科による「体験学習」
—トレーニングから学習へ— 藤原 光 64
II 南山短期大学人間関係科の10年
1. 教育の実践
—1年次の授業の流れ— 宮本 隆 83
1) キリスト教概論 I、II、III 藤原 光 84
2) 人間関係概論 I、II 倉澤 俊三 95
3) 人間関係基礎論 I (哲学的基礎・問演習) 山口 真人 100
4) 人間関係基礎論 II (心理学的基礎・問演習) グラハム 俊子 106
5) 人間関係基礎論 III (社会学的基礎・問演習) 星野 欣生 114
6) 人間関係研究法(その1) 星野 欣生 117
7) 人間関係研究法(その2) 星野 欣生 117
—フィールドワーク—
—2年次の授業の流れ— 123
8) 人間関係各論 I (家族に関する領域) 伊藤 雅子 124
9) 人間関係各論 II (組織・集団に関する領域) 山口 真人 132
10) 人間関係各論 III (文化に関する領域) 高山 徳樹 136
11) 人間関係各論 IV (教育に関する領域) R.A.メリット・倉澤俊三 141
12) 人間関係各論 V (国際法に関する領域) グラハム 俊子 145
13) 人間関係総合演習(合宿) 山口 真人 150
14) 人間関係実践演習 III (卒業研究) 星野 欣生 156
2. 学生の学びとその軌跡
1) 在学2年間で卒業後5年間の個人の成長記録から 倉澤 俊三 162
2) 卒業生の進路調査から 津村 俊充 179
3. 人間関係科に新しくかわかる教員として
1) 教師と学生のかかわり方めぐって 木村 晴子 205
—心理臨床分野の教員として—
2) 「体験学習」を習学する 中野 淳 208
—体験と知とコトバ、知の権威を求めて—
投稿 JICEラボラトリー・トレーニングの実践(その2) 中嶋仁四郎 217
専攻報告 (1984年)
I 研究会
1. 「しるし一つの主神像—商店のおかみさんたち」 天野 正子(千歳大学) 269
2. 人間関係科における体験学習 グラハム 俊子(南山短大) 271
—教員の十二年間—
3. 体験学習と理論学習をめぐって 中野 淳(南山短大) 273
—対峙をめぐって—
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 277
2. 人間関係専門研修講座 279
3. 人間関係特定研修講座 281
4. コンサルテーション 283
5. 社会人研修参加者統計 285
6. 1985年度社会人研修予定 286
III 南山短期大学人間関係研究センター—規程— 288

目次

特別研究会 人間関係と自己表現 竹内 敏晴 2
特集 「自己表現」
I 自己表現ワークショップからの報告
自己表現ワークショップの概要 山口 真人 33
ワークショップ1 「私の仮面作り」 木村 晴子 38
" 2 「自由に開こう、感ずるままに！」 金沢 俊三 48
" 3 「クリエイティブ・ペインティング」 山口 真人 53
" 4 「オキリュートミニ」 グラハム 俊子 60
" 5 「情熱とスペイン舞踏—感情と表現—」 まどか 藤代 71
" 6 「絵本づくり—誕生—」 文殊紀久野 86
II 自己表現をめぐっての考察
1. チームづくりと自己表現 星野 欣生 93
2. 神秘体験にみる自己表現 大森 正樹 98
3. 現代文化と自己表現 樋田大二郎 102
ミニレクチャー
体験学習 星野 欣生 109
プロセスとは何か 津村 俊充 116
コミュニケーション・プロセス 山口 真人 120
邦訳ミニレクチャー
センシティブティ・トレーニングとは何か Charles Seashore (津村俊充訳) 125
グループ: その誕生から死までのサイクル Richard C. Weber (津村俊充訳) 130
レポート
人間関係研究センター—社会人研修
「人間関係基礎研修の理論と実践」 津村 俊充 137
実習研究員から報告
「私の人間関係体験学習の中で」 高平百合子 150
専攻報告 (1986, 1988年度)
I 研究会
1. 「今日からみた人間関係科創設の意義」 津田 肇 153
2. 「スペインにおける生命倫理研究の現状」 まどか 藤代 155
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 158
2. 人間関係専門研修講座 159
3. 人間関係特定研修講座 162
4. コンサルテーション 164
5. 社会人研修参加者統計 166
6. 1987年度人間関係研究センター—専攻予定— 167
南山短期大学人間関係研究センター—規定— 169

目次

巻頭言 星野 欣生
特別研究会: 「学習者を中心とする教育のあり方めぐって」 河津 進介 2
特集 / グループの中に生きる
1. 個を生かす集団・集団を生かす個 星野 欣生 45
2. キリスト教における個と集団 市瀬 英樹 50
3. 現代科学における個と集団の問題をめぐって まどか 藤代 55
—原子論からバイオエレクトロニクスの発想まで—
4. 人間関係科の教育における個と集団 山口 真人 69
—関係に定化した教育の実現をめざして—
5. 「個」と「集団」 横山 彰 77
—合流教育実践からの考察—
6. チームづくりのトレーニングと組織開発 星野 欣生 91
山元由美子
捨熊 京子
松本 寛之 121
田辺 昂
7. 企業内研修におけるグループトレーニング 木村 晴子 130
8. 南山短大における集団不適合 139
—学生相談室開設に向けての報告—
ミニレクチャー
援助するということ 竹内 敏晴 139
態度価値と責任性存在 大森 正樹 144
対人感受性の開発 山口 真人 149
—人間関係トレーニングの原理と実践—
レポート
NTLにおける最近のラボラトリー・トレーニング 津村 俊充 157
専攻報告 (1987年度)
I. 研究会 171
D. 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 175
2. 人間関係専門研修講座 178
3. 人間関係特定研修講座 180
4. コンサルテーション 183
5. 社会人研修参加者統計 185
6. 1988年度人間関係研究センター—専攻予定— 186
南山短期大学人間関係研究センター—規定— 190

目次

巻頭言 伊藤 稚子
特別研究会:「自己との対話 十年の図」 柳田 登山... 1
「水月の極意付り中墨のこと」 上原 輝男... 36
特集/対話
1. 対話的生 宮本 桂... 49
2. からだの対話 竹内 敬晴... 57
3. Cross Cultural "Dialogue" in the Age of Commodity Culture... R. A. メリット... 72
4. 典禮一神と人との対話 市瀬 英昭... 89
5. 神との対話としての祈りとアイコン 大森 正樹... 93
6. 聴くということ 木村 晴子... 97
7. 専門化社会とおせっかい 樋田大二郎... 103
—教師と生徒の対話についての一考察—
8. 科学者と宗教人との対話 まどか麻代... 115
投稿: [翻訳]人間学 O. マルカド (中野 浩訳)... 127
レポート: 教師のためのセミナー 山口 真人... 147
ミニレクチャー:
アクション・リサーチ 星野 欣生... 155
人間関係の改革 山口 真人... 160
—社会的感受性と人間関係のスキル—
専攻報告 (1988年度)
1. 人間関係基礎研修講座... 168
2. 人間関係専門研修講座... 171
3. 人間関係特定研修講座... 177
4. コンサルテーション... 180
5. 社会人研修参加者統計... 182
6. 1988年度人間関係研究センター事業予定... 183
南山短期大学人間関係研究センター規定... 187

目次

巻頭言 津村 俊光
特別研究会:「体験学習とキリスト教教育」 坂口 頌治... 1
特集/Tグループ再考
1. Tグループの倫理 中堀仁四郎... 35
2. Tグループと霊性教育 まどか麻代... 49
3. Tグループに関する2つの考察 木村 晴子... 60
4. ラオラトリ-教育におけるプログラミングについての考察 津村 俊光... 67
—Tグループを中心とした教育実践に向けて—
5. トレーナーになること 星野 欣生... 79
6. 対話的教育—M. ブーバーの教育論をめぐる— 宮本 桂... 89
7. 学生にとつてのTグループの意味 文珠紀久野... 99
8. Tグループに思う
(1) 遅い気づき R. A. メリット... 138
(2) Tグループトレーニングの場に臨むとき 會澤 俊三... 138
(3) Tグループで思うこと 大森 正樹... 141
(4) Tグループトレーニングの経験と家族 伊藤 稚子... 143
(5) Tグループ実践への提案 津村 俊光... 146
—私のTグループ体験から—
(6) wendepunkt—私のTグループ— グラバア俊子... 150
(7) Tグループ隔感 竹内 敬晴... 153
レポート:Tグループの実際 浜本孝子・河原紀久子... 155
南山短期大学人間関係科でのTグループ台席の動向 星野 欣生... 173
ミニレクチャー:
Tグループ 山口 真人... 179
TグループQ&A 星野 欣生... 189
人間関係とフィードバック 津村 俊光... 199
効果的なコミュニケーションのための5つの要素 中堀仁四郎... 203
専攻報告 (1989年度)
1. 社会人研修概要... 209
2. 人間関係基礎研修講座... 210
3. 人間関係専門研修講座... 213
4. 人間関係特定研修講座... 215
5. コンサルテーション... 217
6. 社会人研修参加者統計... 219
7. 1989年度人間関係研究センター事業予定... 220
南山短期大学人間関係研究センター規定... 225

目次

巻頭言 星野 欣生
特別研究会:「日本に於ける生涯学習の動向」 那須野純... 1
特集/生涯学習の実践 一歩びつてなめるに—
1. 生涯学習と体験学習 星野 欣生... 41
2. いま生涯学習に期待されるもの 伊藤 稚子... 55
—生涯学習と体験学習的人間関係教育—
3. 第二の大航海時代の生涯学習 グラバア 俊子... 81
4. 生涯の大事 竹内 敬晴... 94
5. 生涯教育方向性 リチャード・A. メリット... 100
6. 「生涯学習」雑感 河津 雄介... 103
7. 人間関係基礎研修の理論と実際 津村 俊光... 106
8. ボランティア活動と生涯学習 青木明子・山口真人... 119
—いのちの電話活動におけるボランティア相談員の成長—
9. セルフ・サイエンス 津村 俊光... 130
—自己認識を深めるためのトレーニング—
10. ドストエフスキーを読む 大森 正樹... 139
—大人の読書会をやつて—
11. 想起—礼拝における学び 市瀬 英昭... 142
12. 体験を通して「からだ」ところの健康づくり 石田 幸栄... 146
13. 「体験学習」と自己理解 寺西佐植代... 150
—学生から教師という立場になって思ったこと—
14. 私の教育メモ 吉川 房枝... 154
ミニレクチャー:
体験学習と学習ジャーナル—自己理解を深めるために— 津村 俊光... 159
介入ということ—模造された実習において— 星野 欣生... 167
ふりかえりについて—体験学習において— 星野 欣生... 173
専攻報告 (1990年度)
1. 社会人研修概要... 177
2. 人間関係基礎研修講座(一般研修)... 178
3. 人間関係専門研修講座(総統研修)... 181
4. 人間関係特定研修講座... 183
5. コンサルテーション... 185
6. 社会人研修参加者統計... 187
7. 1990年度人間関係研究センター事業予定... 188
南山短期大学人間関係研究センター規程... 193
あとがき—生涯学習制度の懸念— まどか麻代... 194

目次

巻頭言 中堀 仁四郎
特集/からだ
1. 悲観:祈るからだ (竹内敬晴・大森正樹・中野浩)... 1
2. 「奇跡物語」にみる「からだ」の姿容 (市瀬英昭)... 36
3. 「表現するからだ」走り書き (竹内敬晴)... 46
4. 「自己理解の手がかりとしての「からだへの気づき」 (寺西佐植代)... 53
特別研究会:「内側からみる」 (佐伯 祥)... 61
研究ノート:
授業記録:人間関係原論(1989-90年度)
~学生とともに人間関係の原点をさぐる~
(竹内敬晴・山口真人・グラバア俊子・中野浩)... 107
教育に目的があって、情熱を抱いてはいけないのか
グランド・ストーリーなきあとの教育 (樋田大二郎)... 147
ファジィとラボラトリ- (体験学習) (星野欣生)... 166
ミニレクチャー:
成長するための「神」—人間教育のひとつの意味— (木村晴子)... 175
コミュニケーションのプロセスとその障害要因 (津村俊光)... 181
非言語コミュニケーション—からだの語ることば— (グラバア俊子)... 188
専攻報告 (1991年度)
事業概要... 193
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)... 194
2. 人間関係専門研修講座(総統研修)... 197
3. 人間関係特定研修講座... 198
4. 社会人研修参加者統計... 199
コンサルテーション... 200
1992年度人間関係研究センター事業予定... 202
南山短期大学人間関係研究センター規程... 209

人間関係 第10号 1992

目次

巻頭言	木村 晴子
特集/人間教育の核心-学ぶこと・変わること	
1. 林竹二先生について	(竹内敏晴・足野秋生・米沢隆祐) … 1
2. Tグループにおける集団と個の変化 -参加者の気づきと学びを中心にして-	(津村俊光) … 39
3. 性格は「変わる」? -「ゆらぎ」構造に目を向けて-	(大森正樹) … 89
4. 傍観者から共感者へ	(伊藤雅子) … 95
特別研究会:「人間科学の方法論」	(村上隆一郎) … 103
ミニレクチャー:	
人間関係トレーニングにおける人間成長への変容モデル	(津村俊光) … 139
より効果的なミーティングに向けて	Milstein, M.M. (津村俊光訳) … 146
事業報告 (1992年度)	
事業概要	… 153
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 154
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 156
3. 人間関係特定研修講座	… 159
4. 社会人研修参加者統計	… 160
コンサルテーション	… 161
1993年度人間関係研究センター事業予定	… 163
南山短期大学人間関係研究センター規程	… 172

人間関係 第11号 1993

目次

巻頭言	中野 尚
In memoriam 柳原光先生	R.A. Miller
特集/自己実現	
1. 「女性として生きる不安」を越えて -女性の自己実現のための課題をめぐって-	(伊藤雅子) … 1
2. ひとり立つこと -表現と自己実現-	(竹内敏晴) … 15
3. 大学の自己点検・評価と組織の活性化 -組織の自己実現に向けて-	(足野秋生) … 25
4. 自己実現の目指すもの	(大森正樹) … 34
特別研究会:「内面世界と自己意識」	(梶田敏) … 39
レポート: 神経科クリニックでの体験学習の試み -尚観のためのコミュニケーション講座-	(寺西佐雅代・中嶋仁四郎) … 83
ミニレクチャー 「白蘭-見にかがず」ってほんとう?	(津村俊光) … 97
事業報告 (1993年度)	
事業概要	… 103
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 104
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 107
3. 人間関係特定研修講座	… 110
1. 社会人研修参加者統計	… 111
コンサルテーション	… 112
1994年度人間関係研究センター事業予定	… 114
南山短期大学人間関係研究センター規程	… 122

人間関係 第12号 1994

目次

巻頭言	竹内 敏晴
特集/愛	
1. 家族と愛 -結婚の社会的考察をめぐって-	(伊藤雅子) … 1
2. 恋愛と人格 -その語学的かたち-	(大森正樹) … 10
3. 愛の役割 -マザー・テレサとシスターたち-	(竹内敏晴) … 16
研究ノート: 体験学習を用いたグループと個人の成長のための教育実践 -『人間関係プロセス論』の授業報告-	(伊藤雅子・津村俊光・大塚寿生・中村和彦) … 37
特別研究会:「大学教育のあり方」 -「何を」教えるかではなく「どのように」-	(土田友章) … 159
ミニレクチャー・朗読:	
1. コントロールからファシリテートへ -組織の中でいかにL. E. A. D.(リード)するか-	(足野秋生) … 191
2. 人間としてのトレーナー -ベストな介入行動を開発するための重要な視点について-	(津村俊光) … 203
事業報告 (1994年度)	
事業概要	… 211
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 212
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 213
3. 人間関係特定研修講座	… 214
4. 社会人研修参加者統計	… 216
コンサルテーション	… 217
1995年度人間関係研究センター事業予定	… 219
南山短期大学人間関係研究センター規程	… 228

人間関係 第13号 1995

目次

巻頭言	大森 正樹
レポート:	
1. 現代青年の老人理解へ教育的冒険 -平成7年度授業・人間関係各論「人間と発達」の自己点検と評価をかねて-	(村山優生・津村俊光) … 1
2. Memory of Gravity	(川崎佐知子) … 19
特集/いのち	
1. いのちにとどろきまで -からだの感覚が導いた所-	(グラバア優子) … 25
2. 生命(いのち)の突進と似而非ヒューマニズム	(大森正樹) … 35
3. いのちのとき	(伊藤雅子) … 41
4. 生命力と創造力 -ミクランジェロの「アダム」の創造を辿って-	(伊東留美) … 50
5. 「セシュアンの樹人について」語る -95年度「表現による自己成長」の授業にて-	(竹内敏晴) … 61
6. 父・豊芳居士にある和学 -INTERVIEW 国際・社会・改革 親のいのちを導いて-	(まどか樹代) … 69
特別研究会:「医療と人間関係」	(中川米造) … 95
研究ノート: Tグループを用いた人間関係トレーニングの教育実践 ……(山口貴人・津村俊光・足野秋生・中野尚・中村和彦・森崎康宣) … 127	
ミニレクチャー ババリー・ガフ著 プロセッシングのための問いかけ -体験学習の過程を完成させるための助けとして-	(津村俊光訳) … 207
事業報告 (1995年度)	
事業概要	… 219
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)	… 220
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)	… 223
3. 人間関係特定研修講座	… 221
4. 社会人研修参加者統計	… 224
コンサルテーション	… 225
1996年度人間関係研究センター事業予定	… 227
南山短期大学人間関係研究センター規程	… 238

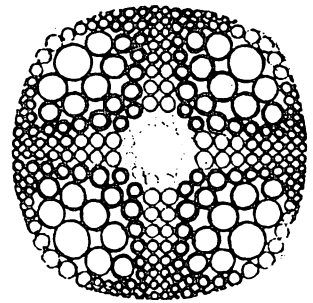
編 集 後 記

第14号を発刊する。今回も長大な時間がかかってしまったが、何とか発行までもってこれたことは、編集委員として、まことに肩の荷が降りた感じがする。今回は「人間関係原論」を特集として、編集した。勿論、これまでも「人間関係原論」は、この紀要で取り上げられたが、今回取り上げたのは、特集の《始めに》にも記したように、教員チームのすべての試みがこれで1クール出そろったことによる。初回は、どのチームも初めての試みであるため、それぞれによくやった点や初回なりの問題点があるだろうし、それはそれなりに努力の成果でもあり、また逆に、努力の足りなかった点でもある。そうしたすべての要素をもったものとして、また新しい試みとして、個々に挙げたものには、記録という価値は十分にあるのではないかと考える。一応の記録が揃った上は、これをどう今後の糧にしていくかが問題であるが、それはまた、常に新しいことを目指す、人間関係科の教員にとっては、挑戦的な、超え出るべき課題ともなるだろう。そのような飛躍の足掛かりともなれば幸いなことである。

その他、恒例の研究会の逐語録とボディーワークやプロセス論についての論文を掲載することができた。特に研究会では上田閑照先生の貴重なお話が聞けた。お話しが原理的なものであるだけ、その意味を考え、言われたことを吟味すれば、今後の各スタッフの教育、研究に資するところが多いであろうと考えている。

今回、紀要の内容としては、あまり多くはなかったけれど、それぞれ記憶すべきことがらに触れたものであったように思う。編集委員の思いとしては、今後、紀要は遅れることなく出したいと願っている。

(大森 正樹 記)



編集者 大森正樹

人間関係 第14号
1997年3月20日 発行

編集発行者 〒466 名古屋市昭和区単人町19番地
電話 (052) 832 - 6214・6211
FAX (052) 832 - 6210
南山短期大学人間関係研究センター
代表者 伊藤雅子

印刷所 (株)尾頭橋印刷所
名古屋市中川区南脇町3丁目20番地
電話 (052) 351 - 6231 番(代表)